

生を自発的な学習者へと導くためには、授業でロシア語を学習している延長線上に、学んだことを活かせる場面があると示すことが重要である。それが私達に求められている課題であることを認識し、これからもロシア語授業に取り組んでいきたい。

(富山高等専門学校)

### 参考文献

- 山本有希・宮崎衣澄 2012 「大学間, 高等学校ー大学間 ロシア語教育ネットワークの確立」2012 年度 研究成果報告書 科学研究費補助金 基盤研究(B)(2011-2015)、37-44
- 横井幸子・林田理恵 2013 「内容を重視した外国語教育のカリキュラム開発と指導についてー第2 外国語としてのロシア語の場合ー」『ロシア語教育研究』第4号、57-73
- 宮本友介・横井幸子・林田理恵 2014 「日本のロシア語学習者の動機づけについてー期待・価値理論に基づく考察-」『ロシア語教育研究』第5号、13-20
- 金子百合子 2014 「あなたはなぜロシア語を勉強しているのですかー全国 6 言語アンケート調査結果から届くロシア語学習者の声-」『ロシア語教育研究』第5号、21-41

## The Current Status and Issues of Russian Language Instruction at the Imizu Campus of Toyama National College of Technology

At the Imizu Campus of Toyama National College of Technology, the students are required to study one of the Japan Sea Rim Languages – Chinese, Korean, or Russian, in addition to English. This paper describes the Russian Language Program offered at the campus and discusses several issues the program are faced with.